

活動報告（10月レポート）

担当：生産振興課

表題：キャベツ畑で粒状堆肥連用試験の生育調査を行いました

日時：令和5年10月26日（木）

場所：静岡県浜松市



（調査の様子）

令和5年10月26日にJAとぴあ浜松と西部農林事務所で粒状堆肥連用試験の生育調査を行いました。

この粒状堆肥は、静岡県畜産技術研究所が富士見工業（静岡市）と共同で開発したもので、牛ふん堆肥を粒状化したものです。通常の堆肥は水分を含むため重く、散布に専用の機械が必要になることもありますが、水分を減らし、粒状に加工することで、従来型の化学肥料を散布する機械でも散布ができ、扱いやすくなっています。

今回は連用2年目の畑で定植1ヶ月半後の初期生育の調査を行い、粒状堆肥の施用区と無施用区で生育に差がないことが確認できました。

西部農林事務所ではJAとぴあ浜松と協力し、今後も粒状堆肥の普及に向け定期的な生育調査を行っていきます。